



# ほんなこてゆたたり

文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”

## いよいよ、運動会の練習が始まります。 ～運動会を通して、何を学ぶのか。～



保健室前の掲示物です。来週から、運動会の練習が始まります。運動会自体、“学びの宝庫”です。工夫された掲示物に、改めて、運動会を通して学ぶことの多さを、再確認しました。(種目をめくると、いろいろなめあてが出てきます。)保健体育的な視点では、体力づくりや、健康管理について学ぶ、貴重な機会と言えます。



タオルを用意して、汗を拭く。当たり前のようにですが、タオルを用意したり、使ったタオルを持ち帰って、洗濯してもらったりと、これだけでも、複数の学びがあります。

走ることが苦手な人にとっては、個人差を思い知らされることもあります。しかし、このことも、重要な学びではないでしょうか。他人と比べる前に、自分のベストを尽くすことに、まず、目を向けさせたいと思います。競争があつたり、基準記録の上か、下かなどが話題になったり、子ども達の出ていく社会には、当

然のごとくあります。このような中でも、自分のペースをしっかりと持って、自分の力を確実に発揮していく、そんな習慣を身に付けてほしいと思います。

各学年グループの集団演技（ダンス等）も、運動会の柱です。身体表現の機会でもありますし、みんなで、いっしょに作品をつくりあげるという機会でもあります。もちろん、ダンス等も、得意な人もいれば、苦手な人もいるでしょう。どちらであっても、貴重な学びの機会になることは、間違いありません。苦労もあるでしょう。そこに、貴重な学びがあると思われま

す。詳しくみていけば、もっと、もっと、たくさんの学びがあります。この貴重な機会を、しっかりと生かしていきたいと思います。

※ 安全・安心の学びの場にするために、熱中症防止対策、コロナ感染防止対策、その他の健康管理が重要です。また、様々な準備等でも、お手数をおかけすると思います。保護者の皆様に、ご理解とご協力をいただくことも、増えますが、なにとぞ、よろしくお願いいたします。学校でも、怠りなくやっていますが、学校で気付いていないことなどあれば、遠慮なく、お教えください。

## 子ども達の本気を引き出す仕組 ～ 6 年間の“学び”や“がんばり”を 見える化する仕組～

学校生活は、“学びの宝庫”です。授業中は、もちろんのこと、掃除時間も、給食時間も、友達関係も、各種行事も、至る所に“学びの種”があります。そこから始まる“学び”や“がんばり”を、見える化し、子ども達の本気を引き出す多良小学校の仕組をつくりたいというのが、4月からの思いです。

この取組は、数年続けることだと考えております。多良小学校の取組として、数年続けることにより、その本当の成果が出てきます。

『とことんカード』が、自分の目標・めあてを決めて、継続してがんばるしかけです。加えて、学期に、3つ以上の自分の目標・めあてを達成した人（『とことんカード』を使って、できなかったことができるようになった人）に、小さなワッペン（『とことんワッペン』）をあげたいと思います。紅白帽子に付けることを、想定しています。

学期に1個、最高でも、年間に3個です。新しい学期、新しい学年になった時、動機づけとなることをめざします。個々の目標・めあては、様々ですので、数を、他人と比較するものではありません。

～『とことんワッペン』の試品～

※ いずれ、“多良小オリジナルワッペン”に発展しないかと目論んでおります。

